

ころであります。その経過につきましては、議長を除く全員で構成する委員会でありますので、後刻、会議録により御承知いただきますようお願い申し上げます。審査の結果のみ御報告申し上げます。

議案第44号 令和6年度長井市一般会計補正予算第2号の1件につきましては、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が審査の結果であります。当局におかれましては、審査の過程で委員各位より出されました質疑、意見等については十分に意を用いられ、事務の執行に当たられますよう申し上げます。予算特別委員会の審査の報告を終わります。

○鈴木富美子議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、御質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第4、議案第44号の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

日程第4、議案第44号 令和6年度長井市一般会計補正予算第2号の1件について、予算特別委員長の報告は原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第44号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

委員会付託の省略について

○鈴木富美子議長 お諮りいたします。

これから上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員で御審議願いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第5 議案第45号 令和6年度長井市一般会計補正予算第3号

○鈴木富美子議長 それでは、日程第5、議案第45号 令和6年度長井市一般会計補正予算第3号の1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 おはようございます。

提案説明を申し上げます。

議案第45号 令和6年度長井市一般会計補正予算第3号について御説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に1億3,118万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ181億3,580万円といたすものでございます。

このたびの補正は、歳出におきまして、市営バス運行事業、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業及びカーボンニュートラル推進事業に要する経費を措置いたすものでございます。歳入につきましては、歳出の財源として国庫補助金を計上いたすものでございます。

第2条の債務負担行為の補正につきましては、第2表のとおり追加いたすものでございます。

以上、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○鈴木富美子議長 提案者の説明が終わりました。

これから質疑、討論、採決を行います。

なお、申合せにより、委員会付託を省略して全員による審議の場合、当日提案議案の質疑につきましては、一問一答の方式により行うこととされております。質疑の時間は1人当たり答弁を含めて60分以内となっておりますので、御協力をお願いいたします。

それでは、日程第5、議案第45号 令和6年度長井市一般会計補正予算第3号の1件について質疑を行います。御質疑ございませんか。

13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 8ページの市営バス運行事業5,000万円について、ちょっとお聞きしてまいりたいと思います。

これについては市営バスへ自動運転車両を導入するための実証運行を行うということで、国土交通省の補助事業が採択されたことによる補正とお聞きしております。全員協議会でも説明を受けたところでありますが、確認を含めてお聞きしてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

最初に、地域づくり推進課長に、この自動運転車両導入に係るその事業の背景と目的について再度確認させていただいてよろしいですか。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 この自動運転の事業の背景と目的でございますけれども、まず、全国的に少子高齢化と、あと、地域公共交通の担い手不足というのが大分顕著化しております。地方都市、中山間地においてもその傾向が本当に顕著になっておりまして、地域住民の移動手段の確保が一番の課題となっております。

長井市につきましても、幹線といたしましては山交バスですね、あとは鉄道でいうと山形鉄道が幹線になっておりまして、支線といたしましては市営バスということで、交通弱者の通学や通院、買い物などの外出を支援することを目的に、今現在は6台のバスで市営バスのほうは運行しております。幹線の山交バスであるとか、

あと山形鉄道につきましては、利用者のほうがなかなか増えていない状況ございますけれども、一方、市営バスの利用者につきましては年々増加傾向にありまして、大分充実しているものの、郡部のほうから中央地区に来る便については、地域によっては2時間に1本ということで、利便性が低い路線もありますので、そういったところ、利用者アンケート等見てみますと、満足度が低い状況となっている状況でございます。

あと、そうした中で、利便性の向上を図りたいと思っておりますけれども、今の運行業務につきましては、市内のタクシー会社3社のほうで組織している協議会のほうに委託しておりますけれども、なかなか運転手不足であったり、あと高齢化が課題となっております、なかなか増車であったり増便のほうが困難な状況になっております。

そんな中で、このたびの自動運転バスを市営バスに導入いたしまして、運転手不足の解消とともに、あとは自動運転入れるための安全の確保ということで、利用者の利便性向上を図ることを目的として、今回取り組むものでございます。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 それでは、このたびの自動運転導入については、山形県内では実施している自治体がないということですが、以前、高島町で何かそういう自動運転のような実証実験やったような、新聞報道等で聞いたような記憶があるわけですが、そのシステムとは今回また違うということなのかどうか、その辺もし分かればお聞かせください。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 このたび国の事業で進めている部分については、長井市が今回申請させていただいて、採択されたのが県内で初めてでございます。以前、高島で行った分について、ちょっと詳細はすぐ分かりませんが、

別の事業で行って、多分その事業については、例えばこの区間でからこの区間までの短い距離を実証的にやったということだと思いますけども、今回我々のほうで取り組む事業については、例えば3年後、4年後の自動運転バスを市内循環バスに導入することを目的として本格的に運用するような形で今回進めているものがございますので、そういった形でいいかと、県内初の自動運転バスの実証事業ということになるかと思えます。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 今回採択になったということですが、全国で何か所ぐらいとかというのは、例えば東北で何か所とか、そういったところはお分かりですか。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 すみません、今手元にない、調べれば出せますが、ちょっと時間かかるので、すぐ答弁できない形です。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 もう少し質疑してしますので、その間、後で答弁いただければありがたいなど。

それで、次にですが、その運行場所と実装に向けたステップというか、スケジュール、今年度から何年かということになってはいるようですが、それについて確認させていただきたいと思えます。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 今年度につきましては、本当にスタートの年で、本当は実証実験ということで、実際に走らせる期間といたしましては12月の中旬から1月の中旬までのおおむね1カ月の期間となります。

実証する運行の場所、ルートにつきましても、今のくるんとバスの循環バスのおおむね半分ぐらいのエリアを考えておまして、長井駅から長井小学校の前を通過して道の駅、そこから国道

287を南に行ってタス、そこから西に上って「くるんと」、そこから市役所という循環バスのエリアを考えておるところでございます。

来年度につきましては、その循環のエリアを今のくるんとバスのエリアに拡大して進めたいと考えております。最終的には3年目ぐらいには今のまちなかの循環バスも全体的に見直しをしたいと考えておまして、今のくるんとバスのエリアを拡大した形で、今の循環バスについては各6台の市営バスが郡部から中央に来て、そこで循環つくってましますけども、専用の循環バスを設置した形で、そういったルートを3年後か4年後ぐらいに運用できるように考えているところでございます。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 分かりました。

それで、報償費16万円入っているわけですが、この間の全協の説明によると、謝礼2名で各2回と示されているわけですが、この辺の具体的な内容についてお聞かせください。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 この事業を進めるに当たって、会議体をつくりたいと考えております。そこに有識者のほうですね、2名ぐらい大学の先生の方のほうに入りたいと思っております。その先生方の旅費等ということで、お二人で2回相当分ぐらい想定しているところでございます。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 あと、この自動運転社会実装推進事業委託料4,959万円あるわけですが、この委託先についてどのようにお決めになるのか、お聞かせください。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 この業務につきましては、公募型のプロポーザルをこれから開催したいと思っております。そこで公募いただいて、業者のほうを選定したいと考えております

ので、具体的な業者名はこれからとなっております。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 あと、次にですが、この自動運転のレベルということ、説明ではレベル4まで引き上げていきたいということのようですけども、このレベル4のところを見ると、一定の条件下で自動運転ということ、一定の条件下というのはこの米印があるわけですが、時速50キロ以下、晴天、高速道路上などということで、例えば長井市、降雪地帯というのも初めてというちょっとお話もお聞きするわけですが、こうした降雪の折の路面の状況とかということで、この一定の条件下というのは非常に厳しい、難しいところがあるのかなとも思うわけです。

あと、ドライブフリーということのようではありますが、どのようなその実証実験、そしてこのドライブフリーのところでの運転手といえますか、その辺の配置がどのようになるのか、お聞きをいたします。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 レベル2については、縦方向と横方向の自動運転ということで、中にやっぱり運転手は必ず運転しなきゃいけないです。運転手のサポートをするような形で、自動運転のレベル2だと必ず運転手が必要となっております。

レベル4については、運転手がいなくても保安員が乗っていれば大丈夫だということになります。

一定程度、自動運転の車両のほうで、例えば道路のセンサーであったり、あとは3Dマップで自動的に運転しますけども、その緊急時の対応として、保安員は必ず常駐しなければいけないというような形となっておりますので、長井市としては最終的にはレベル4まで、令和6、7、8年ぐらいで実証実験しながら、次の年ぐ

らいからレベル4を目指して実証実験を行ってまいりたいと考えております。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 そうすると、このレベル4に行く前にも保安員の方、運転手になるのか分かりませんが、その方については現在の業務委託している市内のタクシー会社3社が組織している協議会あたりをお願いをするというような形になるのか、それともまた新たになるのか、その辺はいかがですか。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 今想定しておりますのが、市営バスを委託している協議会のほうの運転手を想定しております。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 先ほどの今回採択になった件数等について、分かりましたらばお聞かせください。

(「ちょっと今すぐ資料が」の声あり)

○13番 平 進介議員 すみません、じゃあまたお聞きします。

最後の質問になりますが、市長にお聞きしたいと思います。

今回、市内の循環バスを対象に自動運転やっていくということですが、将来的に、例えば市内、市外というか、郊外というか、6地区あるわけで、市営バスも運行になってるんですけども、そうしたところへの自動運転の意向というか、可能性、その辺の将来的な考え方について、市長にお伺いしたいと思います。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今回の実証実験につきましては、例えば先ほど質問あった高島町での実証実験と、基本的にはちょっと違うものだと認識しています。高島の場合は路線を決めて、結局あの時点ではその路線沿いにいろんな装置をつけて、それを受けて自動運転をするバスとかですね、それが安全運行できるような、誘導されるような、一

定期間の路線だと私はそのとき感じておりました。

今回はそれとはまた別のもので、それでなぜ中央地区を選んだかっていいますと、周りの5地区のバスにつきましては国道、県道、それから市道と、それぞれ例えば停車するときの条件とか、バス停ですね、それから、ちょっと危険度が高い、スピードがある程度、制限速度がないところ、50キロ、40キロってあると思うんですが、そここのところが制限速度に近い形で、50キロのところは50キロで走るということをしないと渋滞になりますので、そういった意味でいえば、中央地区のくるんとバスについては短い距離でバス停があって、なおかつそんなにスピードを出さないところであるということで、中央地区からやっていくべきじゃないかということで、今回はそのような方向で進めておりますが、将来的に技術がこれ、どんどん日進月歩でございますので、そういった意味でいえば、将来的には運転手不足などの課題が必ず出てくるかと思っておりますので、暫時まず中央地区をやって、その後、郊外に広げていくと。

ただ、郊外のときに、できるだけ集落の中に入るような、そういう路線で組んでおります。利用される方ができるだけ歩かなくても済むような、そういったところの課題というのは今後バスの大きさも含めて検討していかなきゃいけない課題だなと思っておりますのでございます。

ちょっと、本当概略の概略ですが、私はそのように考えているところでございます。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 分かりました。将来的な方向性について、市長のお話をお聞きできてよかったなと思っております。

あと、先ほどの質問の件を、例えば東北とか大ざっぱなところで結構ですので、お願いできればと思います。

○鈴木富美子議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 国土交通省のほうからは、長井市のほうへ採択通知は出てるんですけども、ウェブ上でどこの団体が採択になったかという情報、まだ公開になっていなくて、ちょっと分からない状況です。ウェブで確認したんですけども、まだ上がっていませんので、ちょっと確認をしておきたいと思います。

○鈴木富美子議長 13番、平 進介議員。

○13番 平 進介議員 分かりました。機会がありましたら、お知らせいただければと思います。

○鈴木富美子議長 ほかに御質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第45号について討論を行います。御意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第45号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第45号は、原案のとおり決定いたしました。

日程第6 議案第46号 長井市固定資産評価員の選任について

○鈴木富美子議長 次に、日程第6、議案第46号長井市固定資産評価員の選任についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 提案説明を申し上げます。

議案第46号 長井市固定資産評価員の選任について御説明申し上げます。

本案は、人事異動に伴い、新たに長井市固定資産評価員に菊地千賀税務課長を選任いたすため、御提案申し上げるものでございます。

よろしく御同意賜りますようお願い申し上げます。

○鈴木富美子議長 提案者の説明が終わりました。

ここで、審議の都合上、菊地千賀税務課長の退席を求めます。

(菊地千賀税務課長退席)

○鈴木富美子議長 本件は人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、直ちに採決いたします。

それでは、議案第46号について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第46号は、原案に同意することに決定いたしました。

ここで、菊地千賀税務課長の復席を求めます。

(菊地千賀税務課長復席)

○鈴木富美子議長 菊地千賀税務課長に申し上げます。

あなたの長井市固定資産評価員の選任に同意することに決定いたしましたので、告知いたします。

日程第7 閉会中における継続審査について

○鈴木富美子議長 次に、日程第7 閉会中における継続審査についての1件を議題といたします。

厚生常任委員会において審査中の事件につい

て、会議規則第104条の規定により、お手元に配付しました申出書のとおり、閉会中の継続審査の申出があります。

お諮りいたします。厚生常任委員長からの申出のとおり、閉会中の継続審査に付することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○鈴木富美子議長 起立多数であります。

よって、閉会中の継続審査とすることに決定いたしました。

最後に、お諮りいたします。本定例会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

閉 会

○鈴木富美子議長 これをもって令和6年6月長井市市議会定例会を閉会いたします。御協力、誠にありがとうございました。

午前10時43分 閉会

会議録署名議員

議 長 鈴 木 富 美 子

1 番 平 井 直 之